

今年のまちづくり予算

I 平成21年度予算と主な施策

本町の平成21年度予算は、一般会計25億6711万2千円、前年度当初予算額と比較し9.7%の増となりましたが、特別会計を含む全会計は、国民健康保険や介護保険の保険者が後志広域連

合へ移行したことなどにより特別会計が大きく減額したことなどから、29億8621万9千円と前年度(34億536万2千円)を大きく下回りました。

主な施策は、次のとおりです。

地場産業の振興

アスパラガス・馬鈴薯・かぼちゃの生産振興……………661万円

本町の特産品であるアスパラガスの増産対策として、JAようてい、クレードル興農(株)と連携して生産者に対し苗代の助成を行います。本年度の助成面積は、ホワイトアスパラガス0.5ha、グリーンアスパラガス0.5haを予定しています。

また、馬鈴薯の生産に重大な影響を及ぼす病害虫対策として、シストセンチュウ対策の土壌浄化と病害虫防除を実施するため、種子・食用馬鈴薯振興対策協議会に支援します。

なお、昨年度に引き続き、かぼちゃ作付予定のほ場土壌診断に対する助成を行います。

土づくり対策

安全・安心な農作物への消費者の関心が高まっていることから、有機資源を活用した健康な土づくりが重要となっています。そのため土づくりに

478万円

の指定金融機関から融資を受けた場合、利子補給します。

勤労者生活安定資金貸付のための預託事業……………500万円

勤労者に生活資金の融資を行うため、北海道労働金庫にその原資を預託します。

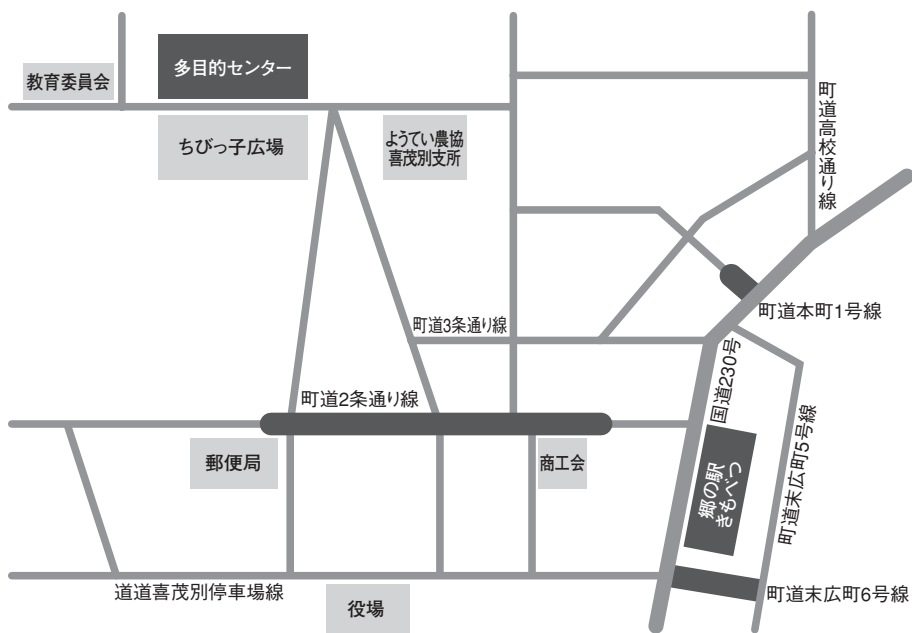
きもべつ青年交流セミナーへの助成……………50万円

異業種間交流を通じてまちづくりを進める青年交流セミナーの活動に助成します。

まちづくり交付金事業……………4億8584万円

平成18年度より着手している市街地区再整備について、まちづくり交

まちづくり交付金事業の場所



欠かせない緑肥作物の利用や堆肥の購入及び粉碎バーク購入への助成を行います。

農道補修助成……………20万円

町道に認定されていない、農地に隣接した農道を個人で整備した場合、砂利代の一部を助成します。

新規作物導入チャレンジ事業……………150万円

本町の気候風土に適し、収益性の高い地域特産物となりうる新規作物の導入にチャレンジする農業者に対して、助成します。

森林整備事業……………1459万円

森林の多面的機能が十分発揮されるよう、適切な森林整備を計画的かつ一体的に実施します。

予定事業量は、森林整備地域活動支援事業908ha、町有林保育下刈事業7haです。

また、林道における通行車輛等の安全確保を図るためガードロープやカーブミラーなどを整備します。

商工会活動への助成……………880万円

商工業の振興を図るため、町商工会が行う経営改善指導や運営に要する経費の一部を助成し、活動を支援します。

観光関連事業の外部委託……………1730万円

事務事業見直しの一環として、観光行政事務を商工会に委託し、その費用を負担します。内容は従来の夏まつり事業、花いっぱい運動事業、フラワーストリート事業、リンケージアップ事業、観光トイレ管理業務、観光パンフレット作成業務、シーニックバイウェイ情報業務、観光ボランティア支援業務です。

中小企業融資利子補給金……………24万円

町内の中小企業の育成と事業運営の円滑化を図るため、事業者が町

付金を活用し市街地区の整備を図ります。本年度は町道3路線(町道2条通り線、本町1号線、末広町6号線)の改良舗装工事、「郷の駅(仮称)」整備工事、生活改善センター解体工事、多目的センター建設工事等を実施します。

公営住宅整備事業……………315万円

老朽化の進む公営住宅の品質を確保するため、外壁及び屋根塗装工事を計画的に進めます。本年度は緑町団地1棟を実施します。

教育文化環境の充実

特別支援教育……………126万円

特別な教育的支援を必要とする児童に対する日常生活活動の介助や学習活動をサポートするため、喜茂別小学校に支援員を1名配置します。

小・中学校コンピューター教育の充実……………693万円

ますます進展する情報化社会に向け、子どもたちが正しく情報を理解し活用する能力を育成するため、コンピューター教育を進めます。

遠距離通学児童生徒の通学手段の確保等……………501万円

遠距離から通学する小中学生の通学費を支弁するとともにタクシーを利用した交通手段の確保を図ります。また、喜茂別高等学校振興助成として、通学費の助成を行い家庭の負担軽減を図ります。

少年教室「わんぱく道場」事業の開催

子どもたちがゆとりを実感できるよう地域の人材や自然を活用した事業を開催します。

高齢者学習活動の推進……………10万円

18年目を向かえる「フレッシュ大学」の継続と、心のふるさと地域づくりを進める「百万本の桜を育てる会事業」を、世代を超えた交流の場と位置づけ、高齢者の学習活動を進めます。

町民スポーツ祭補助金……………40万円

スポーツを通じて町民相互の交流を図るため、町民スポーツ祭の実行委員会へ助成します。